

Graduation Policy (GP)	
記入者氏名	
記入年月日	2006年4月1日
学部・研究科名	教育学部
学科・専攻等名	情報科学教育課程
コース等名	表現情報処理コース
細分名	
教育学部の教育目的（具体的に記述・箇条書き）	
<p>学校教育および社会のさまざまな分野において教育の素養をもって貢献できる人材の養成を目的とする。</p>	
教育学部の Graduation Policy（具体的に記述・箇条書き）	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間と教育に関わる事象を、問題意識をもって思考、調査、分析することができる。 2. 自らの思考、調査、分析の結果を適切な方法で表現することができる。 3. 自らの専門において習得した知識や能力を、実践に活用することができる。 	
情報科学教育課程の教育目的（具体的に記述・箇条書き）	
<p>情報処理機器やソフトウェアの原理や使用技術を基に、コンピュータデザインやソフトウェアの作成を修得し、マルチメディアアート、情報処理、情報科学、教育などの分野で活躍できる人材の養成を目的にする。</p>	
情報科学教育課程の Graduation Policy（具体的に記述・箇条書き）	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 論理的な思考ができる。 2. 情報科学の基礎を理解している。 3. プログラムを作成することができる。 4. マルチメディアアートを作成することができる。または、数理科学の基礎を理解している。 	
表現情報処理コースの教育目的（具体的に記述・箇条書き）	
<p>ソフトウェアからマルチメディアアートに至る諸技能を修得した感性豊かな情報処理技術者を育成する。</p>	
表現情報処理コースの Graduation Policy（具体的に記述・箇条書き）	
<ol style="list-style-type: none"> A. 情報処理やマルチメディアの基礎理論を理解し、これらの領域の問題に対応できる。 B. 情報処理に関する基礎知識を修得し、この分野の問題解決能力を身に付けている C. マルチメディアに関するソフトウェアの原理と使用法を理解し、それらを用いて音響や画像のデザインができる。 D. 情報処理あるいはマルチメディアアートに関して与えられた課題を選択し、実験や試作を通して、その結果や作品を評価し改善をすることができる。 	